

大阪フロイデニュース

Freude

vol.11-1 2018.3.7.wed

うたう仲間 たくさん！！

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com

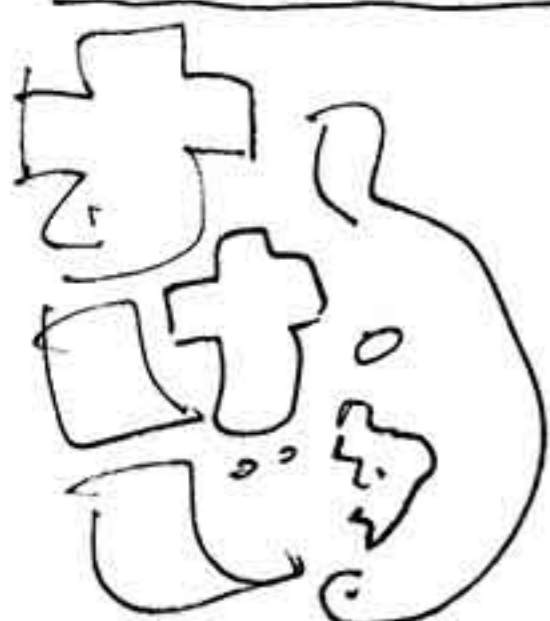
2月15日おつかれさまでしたっ！ベートーヴェンはすごかったなあ、としみじみ。
先生方からは「やっと、練習で積み重ねてきたことがカタチになった演奏、になったね」(今までは運だのみ！？)との講評をいただきました。だんだんチカラがついてきたかな！
でも、みんなわかっているように課題は満載！なので、つぎはさらにレベルアップ！で、

さあ「モーツァルト・モーツァルト」のはじまりですっ。

モーツァルトが、窮屈なザルツブルクから、フリーランスの音楽家にジャンプアップする
上で、非常に重要な位置づけであり、モーツァルトの挑戦と決意がこもった2曲です！
明るくて元気、そのうえ、重厚なフーガも現れて、モーツァルトの魅力が全部入ってます！
いま、継続団員はS20・A28・T9・B6、合計63名でのスタート！？これ、無理！
なんとか、仲間を増やさないと、あらゆる面で、本当に、できなくなっちゃうよっ！
それよりもなによりも、このすてきな曲をうたいたい！ぜひぜひお友達を誘おう！(^o^)/

■ 団員募集しよう！図書館などチラシ置けるとところに置いて！チラシまきも行こう！

| 日時 | 開演 | 集合 | ホール | 演 目 |
|----------|-------|-------|-----------|---|
| 03/08(木) | 19:00 | 20:30 | シンフォニーホール | ロンドン交響楽団 パーカッション・アンサンブル |
| 03/09(金) | 19:00 | 20:30 | いずみホール | 日本センチュリー交響楽団 定期演奏会 ハイドンマラソン |
| 03/10(土) | 14:00 | 15:30 | いずみホール | 辻井伸行日本ツアー debut 10 years |
| 03/11(日) | 14:00 | 15:30 | いずみホール | 東日本大震災追悼・復興祈念コンサート Orchestra JAPAN2011 |
| 03/11(日) | 14:00 | 15:30 | シンフォニーホール | 大阪市民管弦楽団 第87回定期演奏会 |
| 03/12(月) | 19:00 | 20:30 | いずみホール | フィルハーモニック・ウインズ 大阪 定期演奏会 |
| 03/15(木) | 19:00 | 20:30 | シンフォニーホール | スペシャルゲスト 押尾コータロー×The Symphony Hall Big Band |



3/14(水)

18:30~

堀江P.17

3/21(水・祝)

13:15~

滝辺階のりー

(朝瀬橋)

3/28(水)

18:30~

北橋区民C (お4)

(千鳥橋)

大阪フロイデ合唱団 運営委員会定例会

2018年2月24日(土) 13:00~16:30 大淀コミュニティセンター

出席者: 栗野S、板井A、荻野T、川端S、杉田T、辻井T、西野淳S、西野智S、前田B、李T、吉田いずA

1) 音楽会振り返り

① 団員数

| | ソプラノ | アルト | テノール | バス | 合計 | 前ヴィヴァケル |
|----------|------|-----|------|----|----|---------|
| 前回からの継続数 | 19 | 36 | 9 | 9 | 74 | 76 |
| 募集締切時 | 20 | 37 | 9 | 10 | 73 | 82 |
| 最終ステージ人数 | 20 | 31 | 9 | 9 | 69 | 73 |

② チケットの販売実績と入場者数

◆ チケット代は、団内、S4500円、A4000円、(チラシ価格は、各500円増し)、団内最低ノルマS3枚

| | S席 | A席 | 合計 | 前ヴィヴァケル | 前々シュシ | 々々モツモツ |
|---------|-----|-----|-----|---------|-------|--------|
| 全席数 | 705 | 116 | 821 | | | |
| 招待 | 8 | 0 | 8 | | | |
| 団内拡大数 | 686 | 60 | 746 | 734 | 686 | 815 |
| 外部からの申込 | 4 | 2 | 6 | | | |
| 当日窓口 | 2 | 2 | 4 | | | |
| 申込合計 | 700 | 64 | 764 | 758 | 689 | 820 |
| 残席数 | 5 | 52 | 57 | | | |

| | | | | | | |
|-------|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 入場者数 | 598 | 61 | 659 | 681 | 609 | 733 |
| うち招待者 | 4 | | 4 | | | |

団内予約のうち、先生方の予約35枚。団員分は729枚。団員平均は9.8枚 ●3枚団員17名(前回は14名)
 パート平均では、S6.8(6.8)枚、A10.5(10)枚、T11(11)枚、B12.2(12)枚 →カッコ内は前年明けから馬力が出ましたね! 去年出しあったアイデアのおさらいもよかったかも。

③ 打上パーティ・参加人数合計30人⇒有料:26人 招待4:亀井先生・田中先生・清水先生・白石先生
 ・総額:120,000円(収入104,000円、赤16,000円→団会計より補てん)

④ 反省...演奏会、練習、運営、モロモロ。当日出席者の意見+団員振り返りアンケートでの意見より。

● 演奏会(演奏) /

- ・本番の演奏は、お客様の評判もよく、大阪チェンバー、ソリスト、いずみホール、、、演奏会としてよかったと思う。
- ・オケ曲を含め、選曲がよかった。我々のお客様に、よろこんでいただけるプログラムだった。
- ・はけるとき、大阪チェンバーは、コンサートミストレスの一礼にならって、全員でお辞儀をしてはけた。
 大阪チェンバーがお辞儀をしているのに、合唱団がしないのはちょっと。主催者だし、お辞儀をしたい。
 大阪チェンバーは全員でお辞儀をして、すぐにみんなはけるが、合唱団はそろってお辞儀しても自分のところが動くまで、動けないのは、ヘンな感じ。そろってお辞儀するのではなく、はけるときに、自分が動く前に客席に向かって一礼してはける。というふうにしてはどうか。次回より、やってみよう。
- ・ソプラノとアルトが入り組んだ並びは、やはりうたいにくかった。境目をまっすぐ、パートごとでかたまって立つわけにいかないか、、、
 ソプラノは、後ろからのアルトが気になるし、ソプラノの後ろに立ったアルトは、気を遣ってしまうし、非常にうたいにくい。
 最前列だけ特にアルト側に伸びるため、最前列でうたっていると、後ろからアルトのカタマリが押し寄せきて、自分が薄く感じる。

ベートーヴェンの音楽あこい!! ♪

● 練習面（本番の演奏に至るまでのこと含む）／

- ・ 1／10のソリスト合同練習で火がついた。1／10をめざして、みんながんばって自習してきたことがわかった。こういう「目標になる練習」の設定はよかった。
- ・ 譜読み期間を中心に「分かれて練習（女声・男声）」をたくさんやっていただいたので、よかった。（女声）特にアルトは女声練習で、パートで音を取ったのち、ソプラノと歌うことで、主旋律と自分の旋律の関係がわかり、合唱になってからも、くずれず歌える人が多かった。
- ・ 今シーズンも、音楽づくりの仕上げに入ってから、男声の「譜読みしなおし」があった。ザンネン。
- ・ 「自分の音の把握→楽譜の他パートも確認して自パートの役割認識→暗譜・音楽づくり」の順が好ましいが、自分の音の把握から、すぐに、暗譜&楽譜はずせ！になってしまった。これは、練習としては「楽譜の他パートも確認して自パートの役割認識」の時間を設けてくださっていたはずが、その時間、結局、男声の譜読みに費やすことが多くなったため、結果的に「いきなり暗譜」の印象になった。
- ・ 男声は、譜読み期間にじっくりパート練習をしていただき、そのときは音が取れた気になったが、練習シーズン後半の合唱になると、ソプラノにつられたりして、結局、年内は音取りし直しのようなことになった。めんぼくない、。パートで譜読みしてもらうことで、自分の音をまず知ることができ、第一段階の声出しができるが、できれば、それに引き続き「より、つられやすいパートと一緒に歌って、違いをアタマに叩き込む」という練習をしていただけるとありがたい。そのとき、どのパートから音を取るか、というのもし示していただければ。 「パートでの譜読み」から「全体練習」まで期間が空くと、せっかくアタマに入れたはずのパートメロディよりも、より耳に入りやすい旋律（＝ソプラノ）につられてしまう。もちろん、男声の中に、期間が空いた全体練習でも、しっかり歌う人が複数名いれば、うたえるのだろうが、今の人数と不器用さだと難しいので。 譜読み期間のパート練習では、最後に1回または2回でも「本日の部分を合わせる」練習、主旋律のソプラノにつられないで、今読んだパートの音を歌う練習、を行っていただけないでしょうか？（譜読みを確認する目的での合せ練習、ということで、ピアノは、田中先生に最初の音を出して頂くなど、、、）（会場は、分かれて練習の際の、女声の部屋なら、今、予約しているところなら、男声も入ってできます。）
- ・ 徐々に、全員「楽譜ナシ」で気持ちよかった。やはり、指揮への集中がちがったと思う。
- ・ 暗譜が年々タイヘンになってきた。しかし、暗譜しないと指揮を見ないのも事実。ただ、昨年のように、「暗譜はするが、保険で楽譜を持つ。かじりつく人は（先生の指示で）カラで持つ」というのがよいのでは？（このように、楽譜については「持ちたい派」「ナシ派」両方あります）
- ・ サントゥスが、最後の日曜練習で、アカペラ部分のテンポがだいぶゆっくりになった。どんなテンポでも対応しないとイケないとは、思うが、もう少し前の段階で「いろいろ試す」をしていただけたらありがたかった。（アカペラでもあり、音程キープとカンブレが、テンポがゆっくりになるとハードルが上がるので、練習しておきたい）
- ・ 発声の時間で出した声と、曲の練習で出す声が、連動していない団員が多い。ほとんど、意識の問題だが、曲に入ると、アタマが別になってしまう団員が多いので、発声のときに、曲の部分を取りだして、応用のしかたなどアドバイスいただけるとうれしい。
- ・ 女声の個人のボイスチェックを、譜読み後くらいの段階で、やっていただけないか。ノドガンバリ声の人など、個人の指摘をしないと、出し方を変えられないと思う。（個人発声は、「有料でもよいので」という希望者も複数あり）
- ・ 練習態度の悪い人が、今回も多かった。ハーモニーをつくるために、自分が何をすべきか、集中してほしい。
- ・ 団員の練習出席率の件。人数が少なくなっているため、80%出席条件を厳密にするのは無理としても、「なんとか出席しようとする」努力の見えない人があり、周囲のモチベーションの面でも非常によくはない。今回、遅刻や早退してでも、とにかく出席、をがんばった団員も居て、周りも、応援した。休みがちの人は、まず、基本は80%以上出席を認識し、やむを得ず休むにせよ、応援したい気分にする熱心さを、出してください。
- ・ 「休憩」に入る時は、「〇分間休憩」とか、「会場の時計で、〇時まで」等、時間を言うて欲しい。特に本番前で、受付事務などとしていて、いきなり「始めます」と言われるとキツイ。

● 演奏会当日のこと（演奏以外のモロモロ、事務方その他）／

- ・チラシ挟み込み作業はスムーズだった。事前に具体的に担当者を決めて、協力を呼び掛けておいたのがよかった。
- ・女声楽屋で「椅子は自分の分のみ出して自分で片付ける」を徹底したはずが、放置椅子が3脚あった。当日は時間ギリギリの中で、係も自分の音楽に集中したいのに、約束事が守れない人が居ると、本当に悲しい。
- ・オモテのリーダーが、当日インフルエンザで参加できず、ほかのオモテメンバーの方が、若干アタフタされたよう。最後のとりまとめなど、簡単な「オモテマニュアル」をつけたほうがよいかも。
- ・笠置さんに感謝。チケット窓口の西元さんも仕事をやりくりして、来てくれた。ありがたい。
- ・2月の演奏会は、歌う方も聴く方も、体調管理に気を遣う。なんとかさせないか？
→ご意見ごもっともですが、私たちの力量での練習期間（長すぎてもダレるし、短すぎても無理）は8ヶ月程度がよいこと、神戸フロイデ本番時期とかぶらないように、という条件で、おおむね、2月・10月・6月、で設定しています。（前後のずれはアリ）
- ・S席とA席の価格差がなさすぎる。バランス良く聴きたい人はAは買わないので、もっと価格的なお得感があるほうがよい。バルコニー席のステージ真横の席は、どうせ最後まで売りにくいので、うんと価格を下げてはどうか？

● 運営面／

- ・「部活」は、（おおむね）よかった。受付や名鑑などは、リーダーも助かり、参加意識もできたと思う。「部活」方式は、次回以降もやってみたい。ただし、「部」の種類は、見直し必要。
- ・項目で、部活に向かない（手分けしにくいなど）ものは、はずす。人数が欲しいものは強化。
- ・基本は「ひとりひとりが、団をすすめるために自主的に動く」であることを忘れずに。
- ・団長が伝達しているのに、片付け始めているのはダメ。ざわつくので、より団長の話が長くなる。片付けている人は、絶対に、団長の話を聴いていない。思いやりがない。
（バスの時間等で、どうしても早く出る必要のある人は、気を遣って出ているので、それはよいが）
- ・提出物の締切を守る、というような基本的なことができない人が多い。ものすごく係は困ります。

● 収支面／

- ・演奏会は、最後のガンバリは素晴らしかった。ただ、満席にならなかったのも、赤字にはなりそう。日常収支は、団員が71名（本番は69名だが1名は直前リタイア、1名は団費完納リタイア）だったので、大赤字。総会時の収支予定では、日常経費のペイに87名必要との計算になっている。
- ・ただ、一応、ホール代等の前払い用にプールしている運転資金を食いつぶすには至らなかったのも、次期も、団費等、同じ体制ですすみたい。（逆に、団費を上げると、団員減少にもなりかねない）
- ・演奏会収支ではチケットを完売する、日常収支では団員数を増やす。これを、やはり、やっていきたい。家族割引（二人目は3000円）、学生割引（3000円）。中学生高校生（1000円）、も前面に出していく。

※ チケット価格について

現在、チケットは「チラシ価格&団員価格」の設定としているが、「当日価格&前売価格」にしてはどうか？について
団員価格がよい：12人、前売価格がよい：42人、無記載：7人（振り返りアンケートでの質問に対して、の結果）
団員価格がよい人の理由は「自身が広める上でトークしやすい。」

前売価格がよい人の理由は「今の表記だと、チラシで宣伝した際に、5000円&4500円しか見えず、割高感があって損。」

「団員割引、は、どこにも書いていないので、団員が個人負担しているのか、と、友人が気を遣ってしまうことがある」
上記意見を参考にし、S席A席のバランスの課題も含めて運営委員会で案をつくり、総会で提案します。

● 団員募集についてアイデア

- ・男声をなんとかしないと！モツモツスタートは、T9、B6予定。
- ・「学生割引＝団費3,000円」（学生の定義はJRの学割に準ずる）を活用して宣伝できないか？
- ・やはり「有名どころ」の曲に、新しい人は集まりやすい。
いずみホール、大阪チェンバー、の条件で、できる有名な曲は？
「モーツァルト・レクイエム」のほかに、規模が可能な有名曲は無いものか、、、
（団員のメンバー内では、曲の知識がなく、アイデアは出ませんでした、、、）
- ・ほか、新規団員お試し期間団費ゼロ円、や、OBOGのフロイデ後援会（会費制）などのアイデアも出ましたが、「費用&手間」対「効果」の具体性をもう少し探る必要がある。